

明星



<http://www.kameyama.mie.jp/>

kblog/shirakawa/

亀山市立白川小学校 第22号

令和5年11月16日（文責：平野）

「であい ふれあい そして未来へ」 ～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～

☆炭の窯入れ作業が行われました<11月9日(木)>☆

11月9日(木)5・6年生が総合的な学習の時間で取り組んでいる炭焼き体験の、原木の窯入れ作業が行われました。地域から浅野重信さんや、廣森祐一さん、三谷久夫さん、林次雄さんなど、また川合正男元校長先生にご指導ご支援をいただき、実施いたしました。浅野重信さんが窯の中に入り、釜に入れる原木の長さや太さの指示を出していただき、子どもたちは指示通りの原木を窯の入口まで運びました。およそ半日かかって窯入れの作業が行われ、午後かまに火を入れました。9日の夜は、川合元校長先生が火の番をしていただきました。翌日の10日(金)は、雨のなか浅野重信さんと川合元校長先生が火の番をしていただきました。色々なみなさんの支えがあって炭焼



きが行われていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。10日の夜ごろから、煙の色が青色に変わり始め、11日の早朝、窯の蓋と煙突を密閉し、窯の火を消しました。川合先生のお話によると、窯の火を消すタイミングの



見極めが大切で、遅れると、炭が灰になってしまうそうです。また、火の番をしているときの火力の調節のため、窯のふたの隙間のあけかげんで、酸素が入るように微妙な調節が必要だそうです。川合先生でも迷う時は、浅野重信さんに相談をするそうです。炭焼きのノウハウは、浅野重信さんが地域の先輩の方から学んだそうです。これからも白川小学校で炭焼きを続けていくことで、白川の炭焼きの

ノウハウが受けつがれていけばと感じています。

☆11月12日(日)特認校フリー参観

ご参加ありがとうございました☆

11月12日(日)今年度2回目の特認校フリー参観を開催いたしました。今回のフリー参観では、総勢14名の応用物理学会東海支部の大学の先生方やはるばる東京大学からも先生がお越しいただき、「リフレッシュ理科教室」を開催しました。残念ながら、インフルエンザによる学級閉鎖により、2年生、3・4年生は、参加することができませんでしたが、各御家庭にzoom配信で、演示実験を配信させていただきました。

1コマ目の演示実験では私たちが身近に接している液体「水」と融点 -209.9 度の液体窒素を使った、物質の変化の不思議について、見せていただきました。水分を含んだものを液体窒素につけると、瞬く間にそのものが凍りました。バナナを液体窒素につけて凍らせて、かなり前のテレビCMにもあった、「バナナで釘が打てます」の実演もありました。実際に、子どもたちも、生花をぱりぱりにさせていただきました。2コマ目は低学年と高学年に分かれて、理科工作を行いました。低学年では、磁石シート同士をこすり合わせたときに起こる振動を使って、紙の上の恐竜を戦わせました。高学年では、ネオジム磁石に近づけた導線に乾電池の電流を流すことで、導線に力が加わり動き出すしくみを使った電磁カスパーシャトルをつくりました。子どもたちは、普段体験することのない科学の不思議さを楽しんでいました。

愛知工業大学の高井吉明先生をはじめ、ご来校の先生方には、当日のご指導や、本日の教室に向け、実験の準備や工作の材料の準備等で大変お世話になりました。ありがとうございました。

また、4・5限の授業参観もふくめ、ご参観いただきました保護者の皆様ありがとうございました。

